

長崎ほいくだより

発行：一般社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

No. 222
2013.9発行人 谷川和啓
編集料 一人一
購読料 部 55円

グリーンプロジェクト

NPO法人グラスルーツ・スポーツ・フリーダムです。私達は保育園や幼稚園、学校や地域の公園を芝生化する活動を主にやっております。また、公益財団法人日本サッカー協会が行っているグリーンプロジェクトの九州ブロック担当として活動を行っており、今まで40か所以上の芝生化に携わってきました。2008年、南島原市サッカー協会のグリーンパークプロジェクトで南島原市内の2つの保育園を芝生化したのが始まりです。法人の設立は2010年ですが活動は今年で5年目となります。

私達の芝生化の特徴は鳥取県にあるNPO法人グリーンスポーツ鳥取が提唱している、鳥取方式⑥をベースにポット苗方式の芝生化を行っているです。ティフтон芝という競技場などで使用されている品種を50cm間隔で植え、約3か月すると芝生が完成するという方法で

芝生は高価!?

『芝生のグラウンド』と云った大勢の方が競技場のよう綺麗な芝生を思い浮かべると思いますが、私達は芝生や草に係なく定期的に一定の高さで刈り込んであり転んでも痛くない状態を芝生と考えています。



日本ではこれまで芝生に對し『高価である、管理に手間がかかる』というイメージがありましたが、もちろんプロスポーツ選手が使用する芝生はそのような芝生が必要かもしれません。しかし、子ども達が目いっぱい体を動かして遊んだり、地域の人が運動を 즐긴다りするの目的の芝生ならば芝生以外の草が混ざっていてもいいのではないのでしょうか。真意は異なりますが昭和天皇が述べられた言葉をかり、付け加えるならば『雑草という名前の草はない、芝生も草も英語では grass』が私達の信条です。

天然のクッション

土のグラウンドでは転倒による擦り傷などの怪



我が心配ですが、芝生が天然のクッションとなり衝撃が緩和され、勢いよく走って転んでも怪我をすることがほとんどありません。ダイナミックに遊んだり、スポーツができます。園庭が芝生になった保育園では「救急箱を開ける機会が少なくなりました」。また、小学校では「休み時間に外に出る機会が増えました」とお話しになっていました。

芝生は利用すると痛みますが、芝生を利用する人は痛みません。というのが芝生の一歩の利点ではないでしょうか。

また、乾燥した時期になると砂埃が舞い上がり、砂埃の飛散が問題になっていきますが、芝生にすることによって風が強い

くても砂埃がたえず周囲への砂埃を緩和する効果があり、何より保育園や幼稚園、学校では子ども達の目や口のなかに入らず子ども達の体に優しい遊びの環境を提供できます。



により愛

みんなで植え付け

植え付けは梅雨期の6月ごろに行います。植え付けの作業は『穴を掘って、穴に苗を入れて踏むだけ』です。小さな子どもからお年寄りの方までできます。

保育園や幼稚園、学校では利用する子どもや保護者と一緒になつて植え付けを行います。公園などは近隣地域の方々と植え付けを行います。利用する人達が協力することにより愛

天然のクッションで遊ぼう

グリーンプロジェクトで緑の園庭作り



理事長 岡本 信隆

★★★★プロフィール★★★★

昭和46年12月27日生まれ
南島原市出身
たくさん芝生の上で遊び、運動する楽しさを味わって下さい。公式facebook
<http://ja-jp.facebook.com/npograssroots.sports.freedom>メール
graspo.jimukyoku@gmail.com

着が湧くのではないでしょうが。

基本的な管理作業は『散水』『芝刈り』『施肥』の3つだけです。先述したように、除草剤も使用しませんし、草も抜くまでもありません。年

間約100円/m以下の管理費で維持できます。

スポーツ環境や地域コミュニティの在り方、子どもの心を育み魅力のある地域になる一役を芝生による緑化で担っています。

ぜひ、裸足で芝生の良さを体感してみてください。



園長になって、はやくはやく、目まぐるしく毎日が過ぎていきます。周りの人は

なかなかすぐに園長先生と呼ばないだろうと思つていて、保育園の先生方、保護者の皆様、そして園の子ども達もすぐに「園長先生」と4月初から呼んでくれています。「園長」との言葉に一番実感が湧いていないのは、自分自身だったと言ふことをすぐに気付かされ、副園長とは全く異なる責任の重さというものを痛感させられる始まりでした。最近とある場所、一人の若い男性が「夜2歳の子どもの泣き声も車に乗せて出かけてしまします」と話すと、ベテランの女性介護士の方が「ダメよ!ちゃんと抱つてあげて、絶対子どもに伝わるから、肌と肌の温もりが大事よ!」などと熱くアドバイスされていました。ある研修会のなかで、乳幼児期にはまず自分自身を信じさせることが大切であり、自分は愛されていると自信定感を育むためには、肌と肌の温もりが大事というのを聞きまして、同じ福祉職とはいえ、子育て経験ある方から同じような話を聞いて、改めて現場の保育の大切さを実感する出来ごとでした。ある園長先生が言います。「どんな園長になりたいか、しっかりと理想・ビジョンを持たないといけない」「直感(信頼)も大事、職員は子どもを見守り、園長は職員を見守らないといけない」と。それぞれの言葉を心に留めながら、自園の保育に務めている今日この頃です。(N)

長崎ほいくだより

発行：社団法人 長崎県保育協会 長崎市茂里町3番24号 長崎県総合福祉センター 3F TEL.095-846-8871

購読料 一 部 55円

続きは、お買い求めいただきご購読下さい。

お問い合わせは、保育所(園)または長崎県保育協会までお願い致します。

2ページ目以降の内容をご紹介します

■ つれづれ

園長先生等のリレー式コラムです。保育に対する思いや考えなどを文章にしています。

■ 保育のひろば

● 地域との交流

各保育園の近隣の交流状況など画像を添えて紹介します。

● ランチタイム

給食やおやつ、食育等の取り組みを情報提供致します。

● 保育園めぐり

県下の保育園を地区別に順番で紹介しています。

■ すこやかなそだち

保育の専門家が、プロの視点で子育てに関する様々なテーマに基づいて書き下ろす連載コーナーです。

■ 読者のひろば

子育ての思いやエピソードなど地区別の保護者に書いていただくコーナーです。

■ であい

保育士に保育に対する質問を投げかけそれに答えるコーナーです。

■ ZOO夢イン 家族のお出かけスポット情報

編集部一押しの地元のお出かけ情報です。家族向きのお出かけに参考になります。

■ つぶやき

■ わんぱく写真館

子ども達の日頃の保育園における活発な活動の写真を掲載しています。

■ え?!絵本

子ども向けのおすすめ絵本です。わかりやすく解説しています。